

# ふくしま ボランティア フェスティバル

3団体がボランティア功労表彰・感謝状を受賞



▲声の広報ボランティアを代表して受賞した鈴木昌子さん



▲配食ボランティアを代表して受賞した皆さん



▲食生活改善推進委員会を代表して受賞した皆さん

福島県社協主催「第13回ふくしまボランティアフェスティバル」が11月14日（土）パルセいいざか（福島市）で行なわれ、表彰式において、鏡石町から「声の広報ボランティア」「配食サービスボランティア」が県社協会長表彰を、「町食生活改善推進委員会」が同会長感謝状を受賞されました。3団体は、長年のボランティア活動の実績が認められたものです。

## 小林さんが町公民館に寄贈 ＝ベンチセット寄贈＝



▲完成したベンチを前に（写真左から遠藤公民館長、小林さん）

町体育指導員の小林昭一さん（本町）は、仕事の合間に制作されたベンチセットを町公民館に寄贈されました。このベンチセットは、木製の作りとなっており、木の温かみを感じられる仕上がりとなっています。ベンチは、町公民館のグラウンドに設置され、誰でも利用できるようになっています。

## 三浦氏を招いて講演会を開催 ＝鏡石中学校理科講演会＝

ロボットの研究開発の第一人者である工学院大学前学長の三浦宏文氏を招いた理科講演会が11月20日（金）鏡石中学校体育館で開催されました。理科に対する興味・関心を高めてもらおうと開催したもので、聴講した中学生らは、講演に興味深く耳を傾けていました。なお、12月13日（日）には工学院大学と共同で小・中学生を対象とした理科教室が開催されます。



▲世界初の二足歩行ロボット制作や昆虫ロボットの話を披露する講師

## 認知症への理解を求めた寸劇披露 ＝劇団おいドル寸劇披露＝



▲大掛かりな舞台セットで披露

町民生児童委員協議会高齢部会7人による劇団「おいドル」の寸劇披露は、11月12日（木）町勤労青少年ホームで行われ、児童クラブ3年生約30人が鑑賞しました。この寸劇は、認知症を知ってもらおうと始められたもので、認知症の主人公の家庭での模様を分かりやすく描いたものです。

町民生児童委員協議会高齢部会7人による劇団「おいドル」の寸劇披露は、11月12日（木）町勤労青少年ホームで行われ、児童クラブ3年生約30人が鑑賞しました。



▲引渡書を受領する大河原団長（写真左）

## 第三分団に新車両を配備 ＝ポンプ自動車引渡式＝

町消防団第三分団のポンプ自動車が新しくなりました。新車両の引渡式は、11月2日（月）町役場で行われました。初めに、木賊町長から大河原正雄町消防団長へ引渡書が交付され、続いて、大河原団長から分団へポンプ自動車も配備されました。式では木賊町長が「有事の際は迅速、適格に対応できるように一層の訓練に励んでいただきたい」とあいさつしました。常松忠央第三分団長は、「予防消防に一層取り組んで参ります」と意欲を見せていました。

## まちの話題



学校給食に地元産の食材を使おうとした取り組みが行われています。11月6日（金）には、小学校の給食に地元の玉ねぎやりんごなどの食材を使った「さっぱり豚丼」、「かがみ菜汁」のメニューが並びました。児童たちはおいしそうに味わっていました。

## 学校給食に地元産の食材を ＝かがみいし産を食べようデー＝



▲豚丼を口いっぱいほおぼる児童

## 932人のランナーが健脚競走 ＝鏡石駅伝・ロードレース大会＝

今年で5回目となる鏡石駅伝・ロードレース大会は、11月1日（日）鳥見山陸上競技場を会場に行われました。大会は、ロードレースの部、駅伝競走の部に分かれて行われ、秋晴れの中、932人のランナーは健脚を競っていました。



▲一斉にスタートする  
中学男子5kmの部

手をつないで走る親子  
1.5kmの部

